

崎川 和起 (SAKIKAWA Kazuki)

研究員

1991年 香川県高松市 生まれ
2016年 岡山大学大学院 環境生命科学研究科
博士前期課程 修了
2022年 株式会社 三祐コンサルタンツ 退社
2025年 岡山大学大学院 環境生命科学研究科
博士後期課程 修了
2025年 農研機構 農村工学研究部門
水利工学研究領域 水利制御グループ



研究者の横顔

<自己紹介>

はじめまして。崎川和起と申します。うどん県で生まれ育ち、例にもれず大量のうどんを摂取しながら成長し、現在では身長183cmの大型人類となりました。幼少期は父の実家の山中（右図）で、自作の木刀や弓矢を携えてウサギを探し回るなど、野生児のような日々を過ごしました。私の苗字は、実は珍しい名字です。先祖が山の水源を管理していたことが由来し、「崎（山の先端）＋川」、すなわち山の岬に位置する水源を意味します。水の流れや降雨を扱う現在の研究とも親和性の高い名字だと感じています。



<コンサルタントとしての経験>

修士課程修了後に就職した建設コンサルタント企業では、沖縄県宮古島の地下ダム事業における地下水解析や用水計算を担当しました。農研機構には技術相談で度々訪れており、その頃からなじみのある場所でもありました。上司からの愛のある厳しめの指導を受けつつ、時には熱い議論を交わしながら、技術者として大きく成長することができました（仕事がうまくいかず、悔しさのあまり宮古島の海岸（右図）を走ったこともあります...）。



<念願だった博士号の取得>

近森秀高教授のもとで水文統計学を専攻し、「日雨量から確率雨量を推定するメタ統計的極値分布」をテーマに博士号を取得しました（右図：近森先生と私）。コンサルでの経験から自分で技術を研究したいと考え、博士号取得を目指しました。安定した職を離れ、同世代が子育てに奮闘する中で、貯金を切り崩しながら研究に没頭する生活は実にスリリングでした。しかし、毎日のように先生と議論を重ね、研究の考え方を学ぶことで、現在につながる自分自身の研究のオリジナリティを培うことができました。

